

# <重葎窯>信楽焼／水琴窟

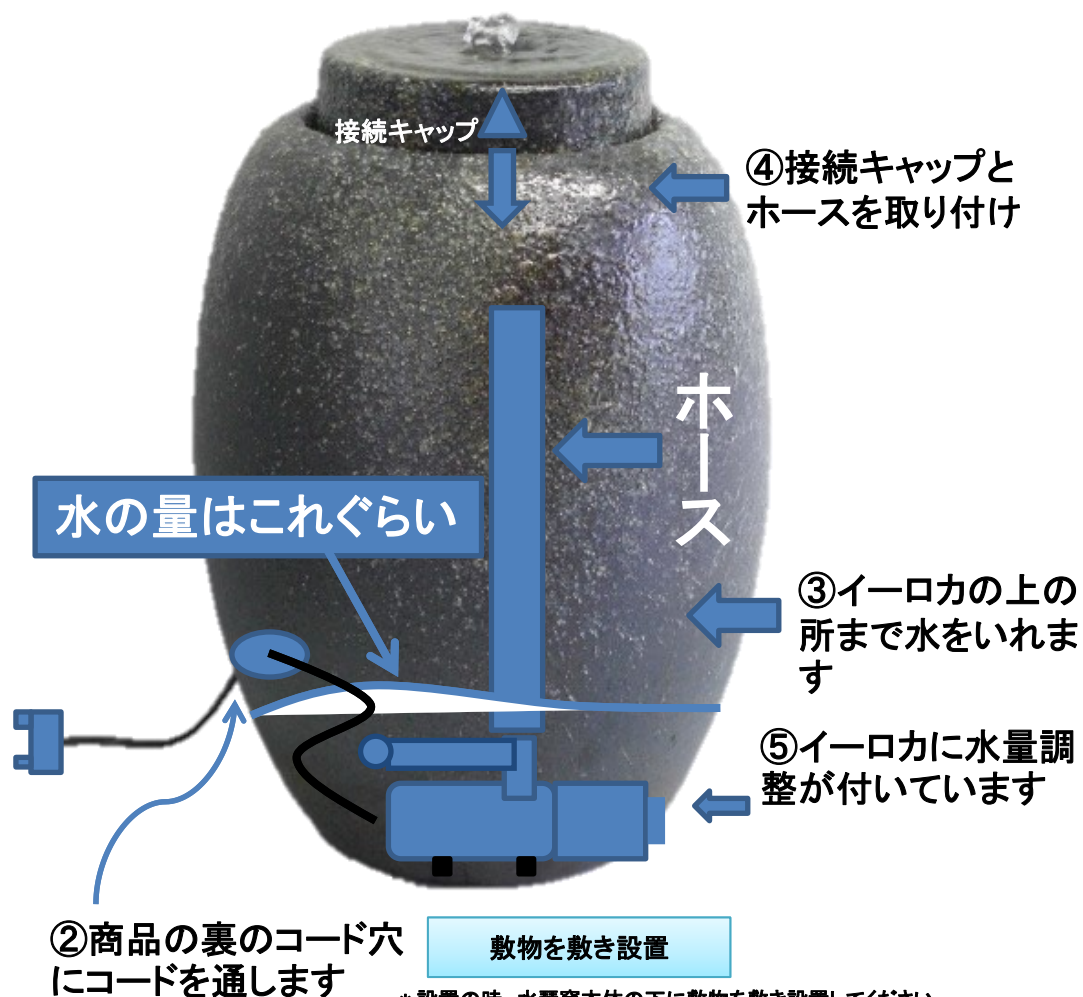
設置方法、設置前に説明書をお読みください。

- ①水琴窟本体を設置する
- ②水中ポンプフィルター<イーロカ>を本体底部に置き、商品の裏の穴にコードを通します  
\* ホースが長い場合はポンプが傾く事がございますが支障ございません
- ③水琴窟本体に<イーロカ>上部が隠れる所まで水を入れてください
- ④水琴窟の蓋裏部に接続キャップと ホースを取り付けてください
- ⑤電源を入れてください(水の勢いが強い場合は、<イーロカ>にて水量調整をして下さい)

## ■注意

設置の際には以下の点にご注意ください

- \* セットや点検をする際には必ず差し込みプラグが抜かれた状態で行ってください。(感電の原因になります)
- \* <イーロカポンプ>電源部に水などがかからないようにして下さい。
- \* 水はねなど周辺に水が飛び散る場合がございます。飛び散る場合水量調節にて水量を小さくして下さい。
- \* 設置の時、水琴窟本体の下に敷物を敷き設置してください。
- \* ②ポンプのコードの引っ張りすぎに注意、水漏れ原因になります。\* 応急処置、穴をテープなどでふさぐ。(コードを穴の上部位置に)
- \* 屋外で使用した場合、雨水により感電の原因、コード穴まで雨水が入り込み反響音が変わる原因になります。
- \* ポンプは購入店から購入できます。
- \* 不具合が生じた場合購入店にご相談ください。



\* 設置の時、水琴窟本体の下に敷物を敷き設置してください。直接設置すると床、畳などに傷、変色(拭きわすれ水、日当たりによる色落ち)する原因になります。\* 設置場所に似合うデザインの受け皿を設置することをお勧めいたします。(素材例、プラスチック、ガラス、石)

水量が少ない場合ポンプが機能出来ず水が回転しない時その時は蓋部上部からコップにて水を注いでポンプに力を与えてください

接続キャップ

接続キャップとホースを取り付ける

ホース

モーターが隠れるほどの水量

ポンプ設置位置

「先端のつまみを左右に回して水量調節(左側=少、右側=多)をすることによって、音の響き具合を変えることができます」

水琴窟本体の下に敷物を敷き設置

ポンプ



電磁部本体

「電磁部品キャップ」が外れた場合電磁部本体に取り付けてください。ねじ式取り付けになっています。

モーター

水量調節つまみ

フィルター

水中ポンプは、筒部分のフィルターとモーター部分を分けて掃除ができます。元に戻す際(ご利用中に外れた場合も)は、フィルターをモーター部分に合わせて、カチッと音がするまでしっかりとはめて下さい。

穴にコードを通す。

コンセント

